

平成30年3月2日
鉄道局施設課

中央新幹線（品川・名古屋間）工事実施計画（その2）を認可しました

中央新幹線（品川・名古屋間）の工事実施計画（その2）について、本日付で認可を行いました。本認可は、電力設備や運行管理システム等の電気関係設備の整備等を工事実施計画に追加するものです。

全国新幹線鉄道整備法第9条第1項の規程に基づき、東海旅客鉄道株式会社から認可申請のあった中央新幹線（品川・名古屋間）の工事実施計画（その2）について、本日（平成30年3月2日）付で認可しました。

[主な認可内容]

- 電力設備（変電所や電力ケーブルなど）、運行管理システム等の電気関係設備を追加
- 電気関係設備の追加に伴い、工事費を約4兆8,536億円に変更

（注1）総工事費5兆5,235億円は変更なし

（注2）工事実施計画（その1）（用地、土木構造物関係等）は、平成26年10月17日に認可

連絡先

鉄道局 施設課 環境対策室 北出、記伊
代表：03-5253-8111(代)内線40834
直通：03-5253-8553
FAX：03-5253-1634

中央新幹線 品川・名古屋間 工事実施計画（その２）の概要

（工事実施計画（その１）からの追加・変更事項）

○工事方法

- ・ 列車の制御方式 列車間の間隔を確保する装置による方法
- ・ 通信設備の概要 光搬送設備及び列車無線設備
- ・ き電線、送電線及び配電線（低圧のものを除く）の架設方式、種類及び太さ

種 類	架設方法	種 類	太 さ
き電線	地上式 又は地中式	特別高圧用ケーブル (架橋ポリエチレンケーブル)	600～800 mm ²
配電線	地上式 又は地中式	特別高圧用ケーブル (架橋ポリエチレンケーブル) 高圧用ケーブル (架橋ポリエチレンケーブル)	22～400 mm ²

- ・ 発電所及び変電所の概要 き電用変電所 新設 14 箇所

○線路の位置

- ・ 地元との協議等の結果、神奈川県駅及び岐阜県駅の駅位置並びに一部区間の縦断線形（3箇所）等を変更

○工事予算

工事実施計画（その１） 4兆 158億円（既認可）

今回追加 8,377億円

合 計 4兆8,536億円

（注１）総工事費5兆5,235億円に変更なし。

（注２）端数処理の関係で、合計が一致しない。

○中央新幹線(品川・名古屋間)概要図

